

## 三朝温泉病院 県内初の動作支援ロボット利用



右脚に動作支援ロボットを装着して歩く患者=31日、三朝町山田の三朝温泉病院

三朝温泉病院(三朝町山田)で、動作支援ロボットが患者の歩行訓練で効果を上げている。脳から送られた信号を皮膚表面のセンサーで検出し、コンピューターが解析。脚に装着した機器が動作をアシストする。鳥取県内の病院では唯一という。

サイバーダイン社(茨城県つくば市)が開発した「ロボットスーツHAL福祉用」で、同病院のリハビリテーション科が2012年に導入。左脚と右脚用が1台ずつあり、昨年未までに脳梗塞や脊椎疾患などで下肢が不自由な入院患者20人が利用した。

歩行訓練中は、モニターに体の荷重の中心が赤い点で示され、それを見ながら体のバランスが取れる。訓練の結果、歩くスピードが速くなるなど運動機能の向上が学会で報告されているという。

## 歩行訓練補助で効果

といている。

胸椎黄色靭帯骨化症で昨年9月から入院している谷田晃さん(71)は、毎日のリハビリに加えて12月4日から週2回ロボットを装着して訓練。両足がまひして立つこともできなかった状態から、平行棒に触って歩けるまでに回復した。

谷田さんは「以前は歩く時に体が左側に寄っていたが、ロボットのおかげでまっすぐになった」と喜んでいる。

リハビリテーション科の山根隆治科長は「患者の筋力などで足りない部分をロボットが補助し、正しい動作を取り戻すことができる。現在では外来の希望者だけでも利用できるようにしたい」と話している。